

参議院議員
浜田昌良様

日頃のご奮闘に敬意を表します。

2月4日の決算委員会での質問をオンラインのビデオで拝見しました。核の「唯一目的宣言」等に関して、鳩山首相による「最大限努力する」という前向きな答弁を引き出したことは、非常に重要な成果であったと思います。たいへん嬉しく思うと同時に、このような答弁が出されたのは、浜田先生のこの問題に対する緻密で一貫した質問および質問主意書の積み上げによる成果であると高く評価しております。

首相答弁のなかには、外務省内にいまだに抵抗があるような発言がありました。また、外相答弁のなかには、核保有国間の「合意」が条件になるかのようなニュアンスがありました。その意味で、政府答弁には煮え切らない部分はまだあります。しかし、浜田先生が指摘されたとおり、これは「被爆国としての責任」の問題です。日本がまさに主導権を発揮して取り組んでいかねばならないという先生のご発言に、全面的に賛同いたします。

今後とも、さらに政府の核軍縮政策をよい方向へ前進させていくために、私たちがNGOの立場からお手伝いできることがあれば、ぜひご協力させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2010年2月6日

ピースボート共同代表
ICNND・NGOアドバイザー

川崎 哲